

注 意 報

8 病 第 1 2 号
令和 8 年 5 月 20 日

関係各位

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり、発表しましたので送付します。

病虫害発生予察注意報第 1 号

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| 1 作物名 | 果樹全般 |
| 2 病虫害名 | 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ） |
| 3 発生地域 | 府内全域 |
| 4 発生時期 | 5月上旬～ |
| 5 発生量 | 平年比多い |



- 6 注意報発令の根拠
- (1) チャバネアオカメムシの越冬量は、山城地域で平年比多く、丹波地域で平年比やや多く、丹後地域で平年並。
 - (2) 5月第2半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺は京田辺市及び亀岡市で平年比多く、京丹後市で平年比やや多い（図1）。
 - (3) 5月第2半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯（ブラックライト、以下BL）への誘殺は京田辺市で平年比やや多く、亀岡市で平年比多く、京丹後市で平年比少ない（図2）。
 - (4) 5月第2半旬現在、ツヤアオカメムシの予察灯（BL）への誘殺は京田辺市で平年比やや多く、亀岡市及び京丹後市で認めていない（平年並）（図3）。
 - (5) 5月第2半旬現在、クサギカメムシの予察灯（BL）への誘殺は京田辺市及び京丹後市で認めず（平年並）、亀岡市で平年比やや多い（図4）。
 - (6) 大阪管区气象台5月14日発表の近畿地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か多いと予想され、今後果樹園への飛来が増加するおそれがある。

7 防除上の留意事項

- (1) カメムシ類は局地的に発生し被害をもたらすこともあるため、園内外の成虫発生状況をこまめに観察し、発生を認めたら早めに防除すること。特に、山林等の隣接園では注

意する。

- (2) カメモシ類は、夜温が高く風の弱い日の日没頃に多く飛来する。
- (3) 合成ピレスロイド剤の連用は、ハダニ類やカイガラムシ類が多発する恐れがあるので避けること。
- (4) ナシやモモの有袋栽培では、早めに袋掛けを行う。
- (5) 農薬の使用に当たっては、ラベル及び最新の使用方法や注意事項を確認すること。また、各薬剤の使用回数を守るとともに、同一成分を含む農薬の総使用回数についても注意すること。

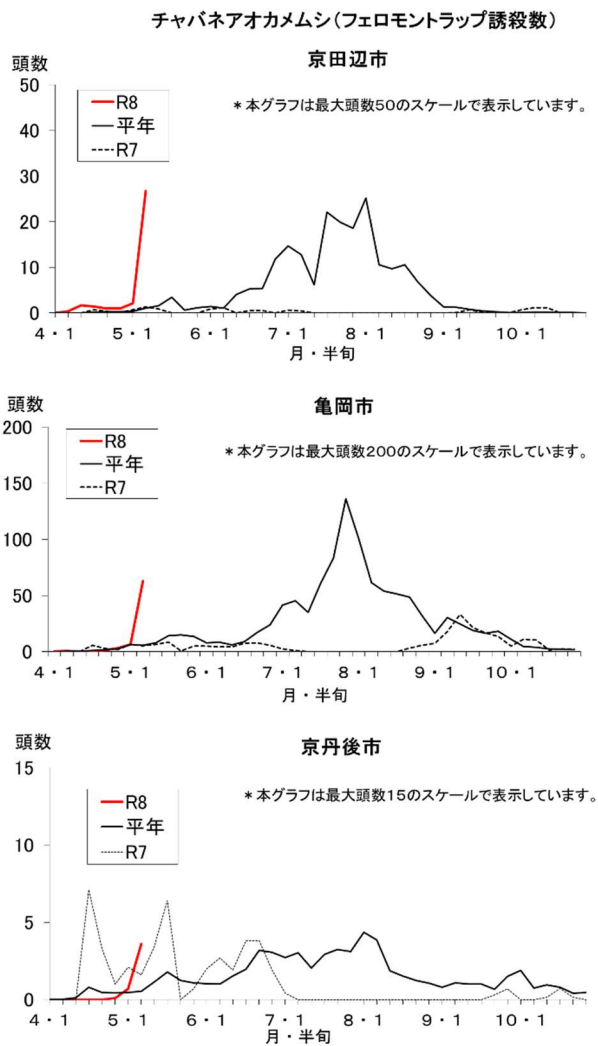


図1 フェロモントラップへの誘殺状況(チャバネアオカメムシ)

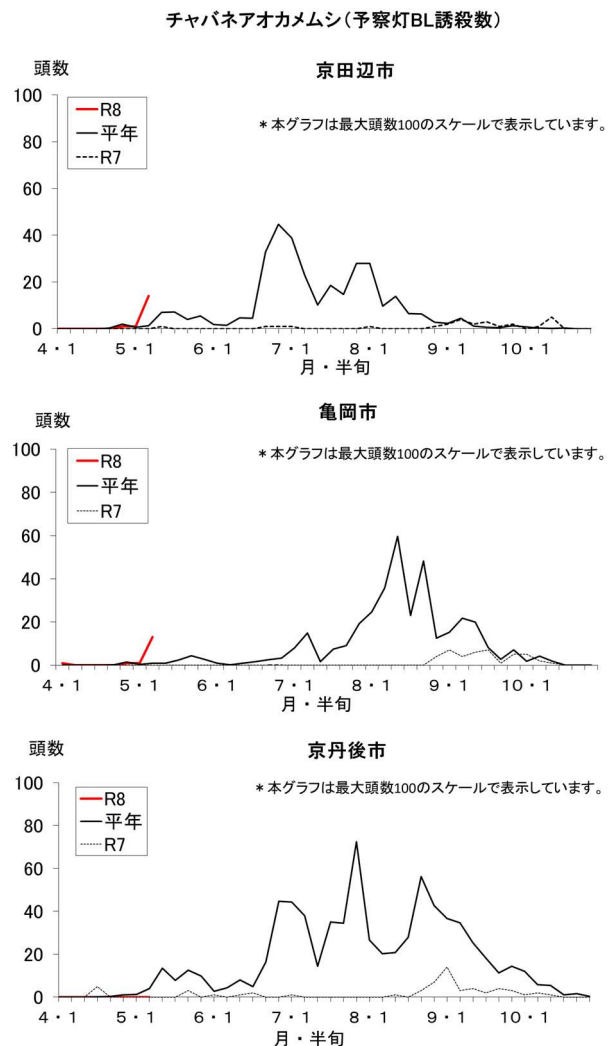


図2 予察灯(BL)への誘殺状況(チャバネアオカメムシ)

ツヤアオカメムシ(予察灯BL誘殺数)

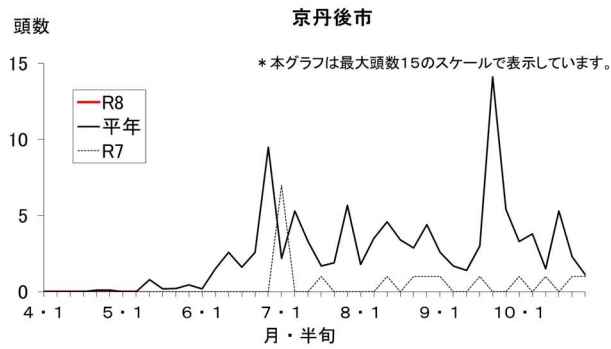
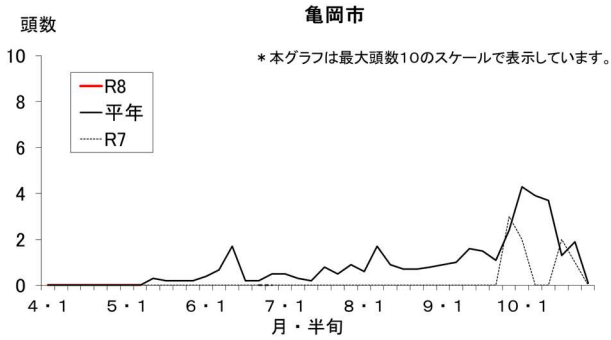
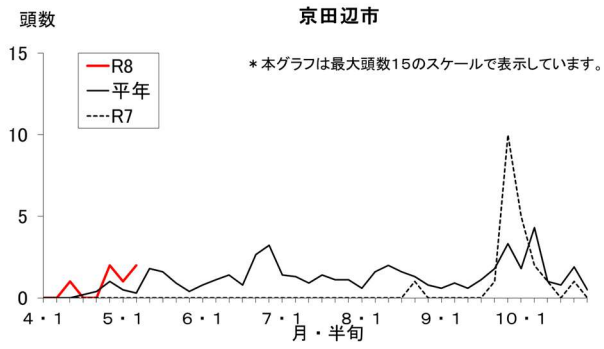


図3 予察灯(BL)への誘殺状況(ツヤアオカメムシ)

クサギカメムシ(予察灯BL誘殺数)

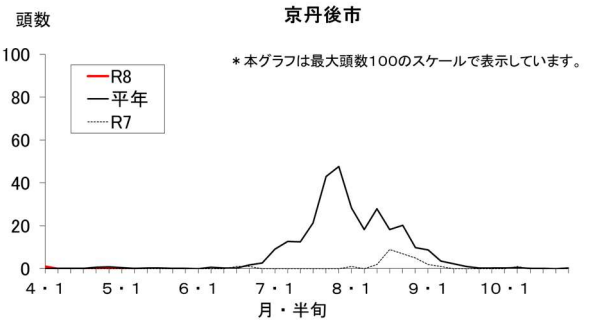
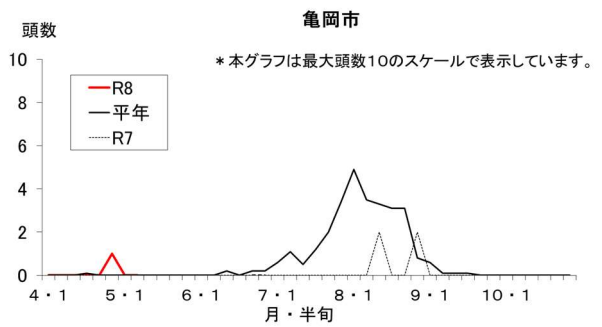
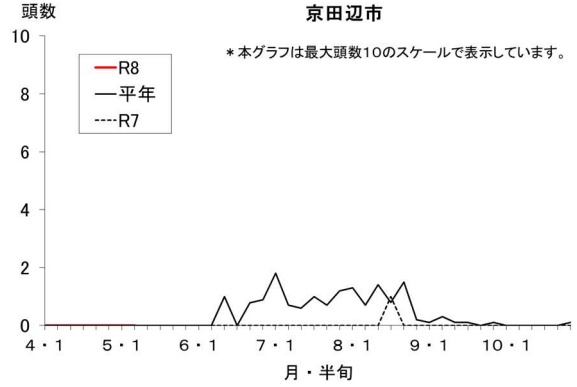


図4 予察灯(BL)への誘殺状況(クサギカメムシ)

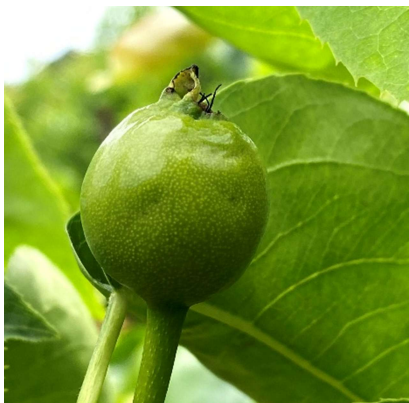


写真1 果樹カメムシ類の被害果(左:ナシ(幼果)、右:モモ)